

資源の有効利用



セメント工場では、セメント原料や熱エネルギー代替物として、多種多様な廃棄物・副産物を利用してあります。セメントキルンは1,450℃という高温で焼成するため、通常の焼却炉では処理できない物質も分解・無害化され、また大量処理が可能です。さらに、焼却された灰も、セメント原料の一つである粘土の代替として取り込まれるため、最終処分場を必要としません。

2020年度にUBEのセメント3工場で有効利用した廃棄物・副産物は319万トンで、そのうちの284万トンをUBEグループ以外から受け入

れ、循環型社会の形成に大きく貢献しています。(注)

また、廃石膏ボードの再資源化や、バイオマス資源である下水汚泥の利活用
の推進検討など、セメント原料化以外の用途も含めた新規事業の開拓にも着手しています。UBEは、今後もさまざまな廃棄物に対する取り組みを強化して、資源循環事業の充実・拡大を図っていきます。

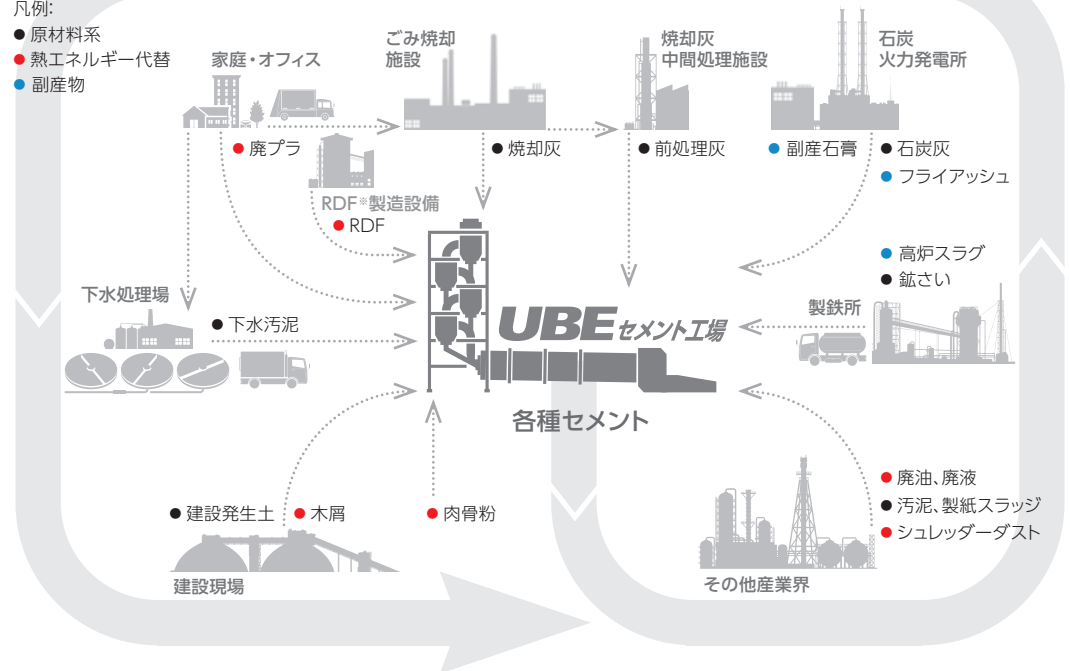


(注)「廃棄物・副産物の使用量」の推移は、P3「非財務ハイライト」に掲載しています。

セメント工場の資源リサイクル

凡例:

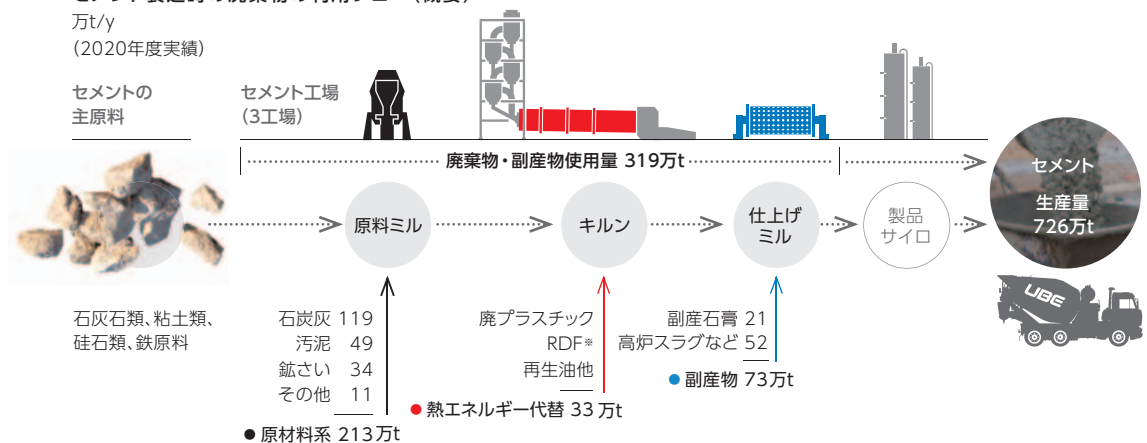
- 原材料系
- 熱エネルギー代替
- 副産物



セメント製造時の廃棄物の利用フロー(概要)

万t/y

(2020年度実績)



用語解説

*RDF (Refuse Derived Fuel): 廃プラスチック、木屑、家庭ごみを圧縮処理し固形燃料化したもの。